

1 概要・目的

- 中尉から大佐レベルの在日米軍人・文民(合計約20名)を対象として、東京及び地方において、有識者による講義、意見交換、文化体験を含む約1週間の研修を実施。
- 研修を通じて、日本の政治・文化、日本を取り巻く安全保障環境、地元との関係等について在日米軍関係者の理解を促進し、ひいては在日米軍司令部や全国の各施設・区域において、日本への深い理解に基づいた施策や米軍人等への指導が行われることを目指し、平成7年度から毎年実施(令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。)

2 令和6年度のプログラムの実施計画(案)

(1) 日程: 本年3月10日～3月14日

(2) 主なプログラム

- 講義(於: 外務省): 日米関係、安全保障、日本政治、沖縄の歴史 等
- 意見交換: 外務省政務レベル・国会議員との懇談、福田岩国市長のブリーフィング・意見交換 等
- 地方視察

(参考) 前回(令和5年度)の結果概要

(1) 概要(令和6年2月26日～3月1日 於: 東京都内、熊本市)

- ① 講義(テーマ: 日本政治・外交、安全保障、地域情勢 等)
- ② 外務省・防衛省関係者との意見交換
- ③ 文化体験(皇居視察、熊本城視察、柔道 等)

(2) 参加者の感想

- ・日本に長く住んでいるが、まだ知らなかった多くのことを学んだ。
- ・とても有益で、日本への理解が深まった。
- ・プログラムを通して得た知識を司令部内で活用したい 等の高い評価を得た。

【参考】令和5年度の様子



穂坂政務官(当時)との懇談



茶道体験



柔道体験